

光風緑 Hannan

2010年 1月



新年あけましておめでとうございます 本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます

診療開始日の1月4日(月)、10時半から多目的ホールにて新年互礼会が開催されました。仕事始めの日に、職員が一堂に会し気持ちも新しく新年を祝う病院行事です。

お正月からの寒さそのままに、冷たい風の強い日でしたが、始まりの日にふさわしい晴天に恵まれた一日でした。

本年は、2月に機能評価受審、10月に新棟オープンと当院の歴史に残る事柄が続きます。機能評価、新棟オープンは、当院にとって、医療の質向上や地域貢献へ向け大きな前進となる一大イベントです。実り多い一年だったと振り返れるように、しっかりと取り組んでいきたいと存じます。そして、患者さんやご家族様、病医院の先生方、近隣の方々はじめ、訪れる多くの方に喜んでいただけるよう、精進してまいります。

どうぞご指導賜りますよう、本年も宜しくお願い申し上げます。

基本方針

人 権を重んじ、患者さんやご家族の「心のふるさと」になれるよう、患者さんの立場に立ったやさしい医療をおこないます。

最 新の医療知識と技術を身につけ、予防から急性期治療・リハビリテーション・在宅支援まで継続的な質の高い医療を提供します。

光 「と風と緑」にあふれた、安全で快適な療養環境を提供します。

地 域の拠点病院として、行政機関や病医院・地域の方々と連携し、保健・医療・福祉に貢献します。

信 頼される医療サービスを提供するために、経営の健全化につとめ、すぐれた医療従事者を育てます。

2008.4.1 改定

院内花 だより

花の少ない時期ですが、蠟梅が咲きはじめています。
どうぞ足を止めてご覧下さい。

光風緑

ろうばい 蠟梅

- 蠟梅(ろうばい)科 開花時期は、12/25頃～翌3/15頃。お正月頃から咲き出す。
花の少ない季節なだけにうれしい花です。おまけにとってもよい香り。
- 中国が原産地で、日本には17世紀頃に渡来してきたようです。
- 臘月(陰暦の12月)に梅に似た花を咲かせるところから、この名がついたとも言われています。

■ 外来診療表

外来診療時間 / 9:00 ~ 12:00(受付は11:30まで)

		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
診察	2 診	黒田	中井		横田	黒田	横田
	3 診	松島	野村	松島	野村	横井	横井
	5 診	西側	梶本	植田	梶本	西側	植田
	6 診	西村	山田	西村	三秋	相馬	小深田
	7 診	村上	清水健	吉田	中井	清水健	呉家
睡眠外来		黒田	黒田・野村	野村	野村	黒田	黒田
小児精神科外来		横田	横田		横田	横田	横田
専門外来	往診相談外来	女性外来	口腔心身症外来	物忘れ外来			

専門外来(睡眠・小児・往診・女性・物忘れ・口腔)は予約制です
医療機関からの入院・転院のご相談は
地域医療連携室で承ります。

電 072-278-0381 医 072-281-6615



診療科目

● 精神科 ● 心療内科 ● 内科

病床数

- 精神科救急入院病棟99床(B1,C1病棟)
- 精神科急性期治療病棟60床(E1病棟)
- 亜急性期病棟120床(B2,C2病棟)
- メンタルケア病棟51床(E3病棟)
- リハビリ病棟60床(E2病棟)
- 老年性精神疾患・認知症病棟120床(D1,D2病棟)
- 合併症病棟60床(D3病棟)
- 精神療養病棟120床(F2,F3病棟) 計690床

看護体制

精神科病棟 15:1 急性期病棟 13:1 スーパー救急 10:1
看護師比率70%以上・看護補助 10:1

関連施設紹介

- 訪問看護ステーションふれあい
- 居宅介護支援事業所
- ヘルパーステーションはんず
- ケアホーム / こもれび・青空・つばさ・そよかぜ
堺市中区八田南之町277 阪南病院内 電 072-278-0381
- ケアホームあんの郷
堺市中区八田北町309 電 072-278-2233
- 地域生活支援センターゆい
堺市中区深井東町3134 電 072-277-9555



編集・発行 医療法人杏和会 阪南病院 地域医療連携室&総務課広報「光・風・緑」チーム

認知症ケアにおける精神科医療の役割

大阪府立大学人間社会学部教授 黒田研二先生をお招きし、12月12日(土)講演会を開催いたしました。先生は、高齢者の虐待防止に向けての有効なシステム「高齢者の権利擁護」「介護老人福祉施設における職員の職務満足」といった高齢者福祉の研究では大変有名な先生です。今回、認知症ケアを行う上で何より重要な地域連携という意味も込め、当日はご案内した関係機関から包括支援センターを中心に41名の来賓が参加されました。

講演は、認知症ケアの過去と現在「認知症ケアに必要な視点」「認知症ケアの原則」「認知症ケアにおける精神科医療の役割」「認知症ケアの将来像」といった5つの構成で認知症ケアの現状や地域、医療の役割など細かくお話くださいました。冒頭には認知症ケアにおける基本的な考え方や医療に何ができるかを考えた、そして重要なのは、関係機関、職種間の「顔の見えるネットワーク」ですと力強くお話になりました。さて、認知症ケアの原則として「なじみの関係作り」「人間関係はなじみがあれば持続しやすく安心する、グループホームなどとは有効」「その人のペースに合わせる」「自分でできることは自分でするように促す。時間内に食事をすすめるために介助しすぎるとお年よりは自分ですることがなくなってしまう」「生活環境を整える」環境の変化に対する適応力低

下を防ぐために温かさや親しみやすさのある状況を整える。「昔の記憶や手続き記憶を呼び覚ます」「記憶障害が進んでいても、昔の唱歌などをよく覚えていいることがある。など4つの原則をあげられました。

高齢者が増える中、認知症はもはや特別な状態ではありません。ケアを病院だけでなく、家族だけといった限定した場所で行うのではなく、病院・施設・家族が地域でケアを展開することが重要です。そのために認知症疾患センターや認知症グループホーム、訪問介護などあらゆる資源が協働することが大切です。最後に認知症も他の疾患と同じように治療ケアができる時代になると思っています。と締めくくられました。



講演会 第2部

第2部では、ご来賓の方と当院職員約60名が6つのグループに分かれてグループディスカッションを行いました。テーマ、認知症の人との関わり方、認知症のケア・支援で工夫して実践していることについて、各施設での取り組みや認知症の方に関わっている中で感じることなど、どのグループも活発な意見交換がなされました。

中には、困っていることとして、家族が介護困難になった場合や、老老介護などひとつのところで抱え込んでしまっているケースが多く、地域や病院、支援センターなどとの連携の必要性を強く感じるとの意見や、家族交流会、訪問ケアチームなどの地域で行っている活動が紹介されました。また、病院との連携では、アルコール関連疾患と認知症などの疾患の受入は難しく、精神と身体両面での治療ができる施設も少ないのが現状で阪南病院にも認知症デイケアがあれば...といった声も上がっていました。



第2部グループディスカッションの様子

2位 新棟着工



2009年 五大ニュース

2009年も
いろいろ
ありました!

1位 院内禁煙スタート



3位 自動検査機 ピトロス登場



4位 職員駐車場移転

5位 機能評価受審へ向け大忙し

次点 救急・急性期病棟に金属探知機



次点 心の日イベント



次点 中央大通り工事

患者権利章典

阪南病院
患者さんの立場に立ったやさしい医療を基本方針として掲げている阪南病院では、医療は、患者さんと医療従事者との互いの信頼関係に基づき、協働してつくり上げていくものであり、患者さんやご家族にも主体的に参加していただくことが必要だと考えております。

患者さんは、良質な医療を公平に受ける権利があります。
患者さんは人の人間として尊重され、医療従事者との相互協力のもとで医療を受けることができます。
患者さんは、診療に關しての充分な説明と情報提供を受ける権利があります。
患者さんは、充分な説明と情報提供を受けた上で、治療方法などを自らの意思で選択する権利があります。
患者さんは、診療の過程で得られた個人情報、秘密が守られる権利があります。
患者さんには、医療従事者に対して、御自身の健康に關する情報をできるだけ正確に伝えて頂く責務があります。
患者さんには、全ての患者さんが適切な医療を受けられる様に、他の患者さんの治療に支障を与えない様に配慮して頂く責務があります。(2008.4.1)

「みなさまの声」BOXをご存知ですか?

現在当院では、患者様やお越しになる皆様のニーズに沿った医療サービスを提供するため、ご要望やご意見を投書頂く「みなさまの声」BOXを設置しています。入院患者さんには、各病棟に、外来患者様やご家族様、ご来院の方々へは、外来待合にBOXを置いています。またデイケアや食堂などにも設置しております。頂いたご意見はしっかり受け止め、皆様にご満足頂けるよう、治療、看護に活かしてまいります。どうぞ、忌憚のないご意見をお待ち致しております。また、当院では、



患者権利章典を掲示し、満足度の高い良質の医療提供を目指しております。